

# DM Topics

for Nursing

特集

## 糖尿病患者さんの 周術期の注意点

糖尿病患者さんは、糖尿病のない人に比べて手術を受ける頻度が高いといわれています。今回は、糖尿病患者さんが手術を受けることになった場合に指導しておきたいことをまとめます。

術前術後の血糖コントロールがとて大切なことはいくつでもありません。高血糖状態は免疫力の低下を招き、術後の感染症のリスクを高めます。一度、細菌感染するとインスリン抵抗性が高まり高血糖の悪循環が生まれます。

喫煙も術後の回復を遅らせます。喫煙習慣のある患者さんには、術後合併症予防の点でも、手術を機に禁煙を勧めたいものです。

血糖の管理は、普段は食事療法のみや経口薬治療を行っている患者さんもインスリン療法に切り替わるのが一般的です。血糖コントロールがより確実に行え、術前術後の細かな調節にも対応できます。そのために事前に入院で血糖管理が必要な方もいるでしょう。一方、周術期は経口薬は原則中止です。特に、SGLT2阻害薬は絶食や手術のストレスでケトアシドーシスを誘発する危険性があるため中止します。患者さんの中には、インスリン治療への切り替えを嫌がる方もいますが、手術を

成功させるために必要不可欠な準備であることをお伝えしましょう。

外来でインスリン治療中の患者さんの場合は、強化療法に変更します。インスリンポンプ療法を行っている場合は、皮下注射による治療に切り替えます。物理的に手術時の妨げになったり、手術時は本体からのボタン操作がしづらかったりするからです。

術前術後のインスリン治療で気をつけたいのが、たとえ絶食状態でも基礎インスリンは必要であるということです。特に1型糖尿病患者さんではいかなる場合でもインスリン注射を中止しないと、患者さん自身で医師や医療スタッフに説明できるように指導しましょう。

また、血糖値の目標は140～180mg/dL程度が至適とされています。重症低血糖は手術成績を悪くすることが報告されています。挿管されている間や、鎮静状態だと低血糖に気づかれにくいことがありますので、頻回の血糖測定が必要です。理想的には糖尿病チームによるバックアップが

ある医療機関での手術が望ましいですね。

術後、食事が再開されると、食事形態の段階に応じて血糖管理を行います。食事を再開して間もない頃は食事量が不安定なので、食事量に合わせて(超)超速効型インスリンを食事後に皮下注射する方法があります。

患者さんの診療情報は、手術する医療者側が糖尿病の主治医に提供を依頼することが一般的ですが、緊急手術ではそのような連携がとれないケースも考えられます。患者さんには「糖尿病連携手帳」「おくすり手帳」などを持ち歩くように普段から指導しておきたいものです。そしてなによりも日頃からの血糖管理をしっかり行うことが手術の成功につながることをお話ししてください。



監修  
関東労災病院  
糖尿病・内分泌内科 部長  
浜野 久美子 先生

### 糖尿病中の脳梗塞・急性心筋梗塞のリスク比 働く世代で11倍超

DM RG

日本医師会総合政策研究機構(日医総研)は、「匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報データベース(NDB)」のビッグデータから糖尿病などの生活習慣病患者を推定し、その治療動向を調査しました。その結果、糖尿病性腎症や糖尿病性網膜症のスクリーニングの実施状況は進み、検査治療ともに均てん化の傾向がみられました。また、40～64歳の働く世代で糖尿病がある場合、脳梗塞のリスク比は11倍以上、急性心筋梗塞のリスク比は13倍以上になることがわかりました。

### 「施設内での転倒に関するステートメント」

DM RG

日本老年医学会と全国老人保健施設協会は、「老年症候群の観点から見た転倒予防とその限界に関する検討ワーキンググループ」での約2年間の検討をふまえたステートメントを発表しました。老年症候群としての転倒について、科学的エビデンスに基づいて検証されています。

### DPP-4阻害薬で初のOD錠 「テネリア®OD錠」発売

DM RG

田辺三菱製薬(株)は、DPP-4阻害薬として国内初の口腔内崩壊錠「テネリア®OD錠」の販売を6月に開始しました。高齢の患者や嚥下機能が低下した患者、また水分の摂取制限が必要な患者での利便性や服薬コンプライアンス向上が期待されます。

### 新しい作用の経口血糖降下剤 「ツイミーグ®錠」が承認を取得

DM RG

大日本住友製薬(株)は、「ツイミーグ®錠500mg(イメグリミン塩酸塩)」が2型糖尿病を適応症として製造販売承認を取得したと発表しました。本剤は、ミトコンドリアへの作用を介してグルコース濃度依存的なインスリン分泌を促す膵作用と、肝臓・骨格筋での糖代謝を改善する膵外作用の2つの血糖降下作用を持つ、新しいタイプの治療薬です。



### ニュース まとめ読み

最近注目のニュースを  
ご紹介します。

詳細はこちら

糖尿病リソースガイド  
<http://dm-rg.net/>



4コマ劇場

糖尿病看護の“あるある”体験談

実際の体験談を  
4コマ漫画化!

第8回「自覚のない低血糖に大慌て」

千葉県 40代 たちさん(看護師歴10年)



入院中の糖尿病患者さんに、低血糖の主訴がほとんどなく困ったことがあります。60代のとても痩せた女性でした。ドクターの指示で決まった時間に血糖値を測定するのですが、そのとき初めて低血糖に気づいて大慌てしたことが数回。「具合悪くなかったですか?」と聞いても「少し寒気がするかも...?」程度の自覚症状しかありませんでした。

Nurse's advice

木下Ns.の一言アドバイス

無自覚性低血糖は、患者さん本人よりも関わるほうが慌ててしまいますよね。患者さんの低血糖への感度をすぐにあげることにはできないので、まずは低血糖時に備えた対処方法を実践しておくことが大事です。糖尿病手帳やカード、すぐ摂取できる飴などを常に持つこと、おかしいと感じたらすぐに座る心構えを伝えていきましょう。今年は低血糖時の点鼻薬が発売され、第三者が低血糖症状に対処しやすくなりました。このような方法を患者さんへ紹介するのもいいと思います。

木下 久美子 先生(関東労災病院 糖尿病看護認定看護師)

詳細はこちら▼

体験談募集中!

皆さんの「元気が出る」「ほっとする」エピソードをお待ちしております。採用された方にはプレゼントも!



教えて、MRさん!

「低血糖時は血糖測定で確認を」

高齢者、自律神経障害を伴う患者や、重症低血糖を起こした後の患者では、自覚症状のないまま意識障害を起こすなど、血糖が低下しても自覚症状が現れにくい無自覚性低血糖となることがあります。反対に高血糖状態が続くと、実際は低血糖ではないのに少し血糖が下がっただけで低血糖のような症状が現れることがあります。

また、CGMなどの持続血糖モニ

ターは無自覚性低血糖や夜間・早朝の低血糖の把握に有効ですが、低血糖または低血糖の可能性が報告された場合には、血糖測定機器を用いて指先での測定を行わなければなりません。間質液では、急激な血糖値の変化を反映していない場合があるからです。

低血糖が疑われる時は、血糖測定を実施して速やかに実際の血糖値を確認することが重要です。

(株)三和化学研究所の血糖測定機器

[自己検査用グルコース測定器]

カルテストアクア SMBG器

検体量:0.6μL  
測定時間:Neoセンサー使用 5.5秒  
ブルーセンサー使用 7秒  
音声ガイド機能、高機能モード搭載  
高度管理医療機器・特定保守管理医療機器  
認証番号:301AABZX00059A01  
製造販売元:株式会社アーケレイファクトリー



[グルコース分析装置]

カルテストミントII POCT機

検体量:0.6μL 測定時間:約7秒  
測定範囲:10~1000mg/dL  
日本語表示・カラー液晶  
電子カルテ等との連携機能  
一般医療機器・特定保守管理医療機器  
届出番号:13B1X10144000011  
製造販売元:PHC株式会社

